

関西経済3団体と企業等で「大阪都心のまちづくり活動勉強会」を発足**2025年の大阪・関西万博とその後に向けて、大阪都心のまちづくり活性化を目指し
官と民の魅力を活かした大阪ならではの官民共創スタイルの創出へ！**

- この度、2025年大阪・関西万博、2031年のなにわ筋線開通（予定）などの大きな発展的転換期に向けて、大阪の国際競争力の強化を目指した都心としてのあり方を探るため**大阪都心のまちづくりに関わる民間企業有志や関西経済界3団体**が集まり「大阪都心のまちづくり活動勉強会」（座長：橋爪紳也・大阪府立大学特別教授）を発足しました。
- 本勉強会では官と民の魅力を活かした「官民共創スタイル」の実現を目指し、新たなスキームや公益を担う民のあり方など、活気あふれる大阪ならではのまちづくり活動と、その活動による大阪全体の活性化を検討しています。
- 8月27日に政府で万博関連のインフラ整備計画が決定されましたが、2025年までには、なんばの駅前広場化（2023年）、うめきた2期の先行開業（2024年）、御堂筋の側道歩道化（2025年）などが進み、大阪の都市空間はかなり変貌していることが予想されます。
- 本勉強会では、**万博を好機ととらえ、世界各国から万博を訪れる方々に向け、実際の大阪都心において万博のコンセプトである「未来社会の実験場」が実践されていることが、未来につながるレガシーになる**と考えております。
そのためには、大阪都心の都市空間（歩行者道路・水辺・広場・公園など）を活用したシティエキシビジョン（都市空間を活用した魅力発信の実践）や、来街者が大阪での時間を安全安心に楽しんでいただくための情報連携等、大阪の魅力を活かしたエリアと人との交流による「おもてなし」が重要であり、その実践による効果や経験値が10年後20年後の大阪の価値向上につながると考えております。
- 約3年半後に開催を迎える万博をいかにして活かし未来につなげるか、大阪のまちづくりを戦略的に進めていくための方策等について、さらなる検討を進め、年度内には提言としてまとめ、改めて発表いたします。

※添付資料：大阪都心のまちづくり活動勉強会 概要

※大阪都心のまちづくり活動勉強会メンバー ※順不同

【座長】大阪府立大学特別教授 橋爪紳也

【参加企業】大阪ガス株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄不動産株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急阪神不動産株式会社、三井不動産株式会社、一般社団法人大阪まちづくり協議会

【参加経済団体】公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会

【オブザーバー】大阪府、大阪市

【事務局】一般社団法人大阪まちづくり協議会

■本件に関するお問い合わせ

一般社団法人大阪まちづくり協議会 岡 那須 <http://www.osaka-placemaking.jp/>

MAIL : info@osaka-placemaking.jp

4

3

2



2031

2025

2031

2025

